



第10回正道会館福岡県交流大会 大会要項・申込書



- 【日時】令和元年12月15日(日) 9:00開場 9:15受付 10:00開会式 17:30終了予定
- 【会場】北九州市立若松武道場(北九州市若松区古前1丁目1番1号若松体育館横 TEL093-761-1983)
- 【主催】新日本空手道連盟 FIKA 正道会館北九州本部
- 【参加料】4,000円 ※天災地変により大会が中止となった場合、参加料の返金はいたしません
- 【競技内容】・正道フルコンルール個人トーナメント戦
・選抜メンバーによるフルコンPlusスポーツルールワンマッチ

切日
11月13日(水)

ジュニア・中学生クラス(色帯のみ 白帯は不可)			
▶ 小学1～3年生			
準決勝まで:本戦(1分)▶延長(1分)*マスト			
決勝戦のみ:本戦(1分)▶延長(1分)▶再延長(1分)*マスト			
クラス番号	クラス名	クラス番号	クラス名
①	小学1年生男子	④	小学1年生女子
②	小学2年生男子	⑤	小学2年生女子
③	小学3年生男子	⑥	小学3年生女子
▶ 小学4～6年生・中学生			
準決勝まで:本戦(1分半)▶延長(1分)*マスト			
決勝戦のみ:本戦(1分半)▶延長(1分)▶再延長(1分)*マスト			
⑦	小学4年生男子	⑩	小学4年生女子
⑧	小学5年生男子	⑪	小学5年生女子
⑨	小学6年生男子	⑫	小学6年生女子
		⑬	中学生男子

一般チャレンジクラス(高校生以上)	
▶ 一般男子チャレンジAクラス ※大きな大会で入賞経験の無い黄～緑帯	
準決勝まで:本戦(2分)▶延長(2分)*マスト	
決勝戦のみ:本戦(2分)▶延長(2分)▶再延長(1分)*マスト	
クラス番号	クラス名
⑭	一般男子チャレンジAクラス軽中量級70kg未満★
⑮	一般男子チャレンジAクラス重量級70kg以上
▶ 一般男子チャレンジBクラス ※全ての大会で入賞経験の無い黄・青帯	
準決勝まで:本戦(2分)▶延長(2分)*マスト	
決勝戦のみ:本戦(2分)▶延長(2分)▶再延長(1分)*マスト	
⑯	一般男子チャレンジBクラス軽中量級70kg未満★
⑰	一般男子チャレンジBクラス重量級70kg以上
▶ 一般女子チャレンジBクラス ※全ての大会で入賞経験の無い黄・青帯	
準決勝まで:本戦(2分)▶延長(2分)*マスト	
決勝戦のみ:本戦(2分)▶延長(2分)▶再延長(1分)*マスト	
⑱	一般女子チャレンジBクラス無差別級

<フルコンPlusスポーツルールスペシャルマッチ(5試合)>

北九州本部と福岡支部の小学5年から中学生選抜メンバーによるワンマッチ(全試合:本戦1分半▶延長1分*マスト)
(ルール概要)・軽量でソフトな素材の専用グローブとフェイスカバー付きヘッドガードを着用し、ダメージを与えないライトコンタクトでの上段直突きを認める。
・フルコンルールに加え、気合・残心を伴った中上段直突きと中段蹴りのクリーンヒットがポイントとなる。

⚠ 注意事項

- ・一般チャレンジクラスは九州各支部から参加可能、ジュニア・中学生クラスは北九州本部・福岡支部管轄の道場生のみ参加可能。
- ・各クラス参加人数不足の場合、合併・中止となる場合があります。
- ・★がついたクラスの選手は当日受付時に規定体重をオーバーした場合は減点又は失格となります。
- ・必ずスポーツ保険に加入して下さい(未加入の場合、出場不可)。道場で案内しているスポーツ安全協会のスポーツ保険に加入されている場合は試合も保険対象となっている為、加入の必要はありません。この保険に加入希望の方は各道場責任者にお問い合わせください。

第10回を記念し、表彰式後に参加全選手を対象とした豪華プレゼント抽選会を行いますので、最後まで応援・ご観覧下さい。

キ リ ト リ

私は、今大会のルール及び規約を遵守し、選手として恥じない行動を取り、日頃精進した技術を存分に発揮し、空手道精神に基づき正々堂々と試合する事を誓います。また、今大会に出場するに当たり、試合における勝敗の判定に関しては大会審判団に一任し、一切の異議を申し立てない事を誓います。また、今大会における試合中のいかなる事故に対しても、自己責任として私が責任を負い、主催者に対し責任を追及しない事をここに誓約いたします。
※大会出場者の個人情報に関しましては、大会運営・選手管理の為に利用致します。選手所属支部・道場名、及び選手の名前、入賞者名、写真、試合動画が正道会館ウェブサイト、SNS、各マスコミ誌等に掲載される場合がございますのでご了承お願い申し上げます。

ふりがな											【未成年者のみ】	性別	男・女		
氏名	Ⓜ										保護者氏名	Ⓜ			
所属	支部	道場								出場クラス	番号	出場クラス			
年齢	歳	学年	小学	年生	修行年数	年	ヵ月	現在級	級・段	帯					
身長	cm	体重	kg	入賞歴	※過去1年の入賞歴の中で1番大きなタイトル(入賞ある場合は記入必須)										

フルコンルール 大会規約

《得点・判定基準規定》

■得点基準■

●有効(ポイント1)

有効(ポイント1)の獲得には以下のそれぞれの条件に原則として「気合」と「残心」を必要とする。

- ・上段への蹴りをノーガードの箇所クリーンヒットさせた場合
- ・瞬間的な崩しや投げ、足払い、下段への蹴り等で転倒させた相手や、胴廻し回転蹴り等で自ら転倒した相手へ、即座に腰より上の、腕を除く部位へ寸止めで下段突きを決めた場合
→転倒している選手による下からの蹴り上げは認める
- ・中段以上への蹴り(前蹴り、足刀、後ろ蹴り等)により相手を大きく転倒させた場合

●技有(ポイント2)

- ・ダメージが認められた場合
- ・有効を2回取った場合

●一本(ポイント3)

- ・ダウン(スタンディングダウンも含む)や戦意を喪失させた場合
- ・技有を2回取った場合
- ・有効を3回又は技有1回と有効1回を取った場合
- ・主審・ドクターが相手選手の試合続行不可能と判断した場合

■判定基準■

一本勝ち・相手の反則負けあるいは失格がない場合、本戦終了後に判定をとる。

判定基準の優先順位は

- 1) 技有(ポイント2)の有無
- 2) 有効(ポイント1)の有無＝技有には至らないダメージの有無
- 3) 有効打

の順とし、その他にも戦略や技術の優劣、中段以上の蹴りの多さ、しかけた技の多さ、力強さ、闘争心、試合態度、等を考慮し判断される。

- ▶有効(ポイント1)あるいは警告(減点1)があっても、上記基準の優劣により判定で相殺される場合もあり得る。
- ▶延長戦以降はどちらかにポイント又は減点が与えられた時点で終了とする。
- ▶最終延長戦で無得点の場合はどちらかに旗をあげるマストシステムとする(体重判定は行わない)。

得点	ポイント	優劣	罰則	減点
有効	+1	=	警告	-1
技有	+2	=	反則注意	-2
一本	+3	=	反則(反則負け)	-3

【試合時間】

	〈準決勝まで〉		〈決勝戦〉		
	本戦	延長戦	本戦	延長戦	再延長戦
小学1～3年	1分	1分	1分	1分	1分
小学4～6年・中学	1分半	1分	1分半	1分	1分
一般	2分	2分	2分	2分	1分

【審議】

- ◎競技判定において、審議を必要とする場合の最終決定権は大会審判員にある。
- ◎審議内容については各コート主審が説明。決定にはいかなる抗議も受け付けない。

●各自用意 ○主催者用意 △任意着用 ー着用なし

防具	クラス	男子				女子	
		小学生	中学生	一般 チャレンジB	一般 チャレンジA	小学生	一般 チャレンジB
マウスピース		△	△	△	△	△	
拳サポーター(布製)		●	●	●	●	●	
パンチンググローブ		—	●	●	●	●	
スネサポーター(布製)		●	●	●	●	●	
ヒザサポーター(布製)		●	●	●	●	●	
金的ファールカップ		●	●	●	●	—	
ヘッドガード		○	○	○	—	○	
心臓震盪予防用インナーチェスト		△	△	—	—	●	
スポーツブラ		—	—	—	—	●●	
アンダーガード		—	—	—	—	●	
Tシャツ		—	—	—	—	●	

- ◎ヘッドガードは決勝戦のみ双方の合意があれば着用せずに試合をすることができる。ただし、片方でも着用を希望する場合は、双方共着用しなければならない。
- ◎金的ファールカップ・アンダーガードは必ず道着の中に着用。
- ◎拳頭部へのテーピングは、裂傷がある場合のみ認める。試合前に各コートの選手係にチェックをしておくこと。それ以外の箇所へのテーピングに選手係のチェックは不要。
- ◎*中学生以上の男女は、拳サポーターかパンチンググローブ、どちらでも選択可能。
- ◎*一般女子のインナーチェストとスポーツブラはどちらでも選択可能。
- ◎防具を忘れた場合の貸出しは一切行わない。

《禁止行為・罰則基準規定》

禁止行為は次の2つに分類される。

■危険行為(負傷につながる禁止行為)■

- ・上段(顔面、頭部、頸部)への手技による攻撃
- ・頭突きでの攻撃(バッティング含む)
- ・上段膝蹴り
- ・金的・女子の下腹部への攻撃
- ・主審の「やめ」の後での攻撃
- ・腰から上へ持ち上げての投げ
- ・相手の蹴り足を持つての投げや攻撃
- ・背後からの正中線への攻撃
- ・倒れた相手、又は攻撃の為ではなく足の裏以外が床についた相手へ攻撃を当てる事
- ・その他審判が危険行為と判断した場合

■違反行為(試合の進行を妨げる禁止行為その他)■

- ・相手をつかむ事(片手、両手共に禁止)
- ・首相撲
- ・片手でも首相撲のような形で頭部、頸部を抱え込む事(高校生以上は認める)
- ・クリンチを仕掛ける行為
- ・2回以上場外へ出る事(相手に押されたり投げられたりして出た場合は除く)
- ・不活動(見合ったままの状態が長く続く事)
- ・相手の危険行為による負傷を装う事、又は誇張する事
- ・礼をしない事、審判団に対する不作法、道徳に反する行為
- ※礼は、背中と両腕を伸ばした気をつけの姿勢から、無言で上体を約30度前に倒す動作とする
- ・その他審判が違反行為と判断した場合

■罰則基準■

●警告(減点1)

- ・上記禁止行為のいずれかに該当した場合

●反則注意(減点2)

- ・禁止行為により相手選手に大きなダメージが認められた場合
- ・減点が累積された場合

●反則＝反則負け(減点3)

- ・禁止行為により相手選手に試合続行不可能なダメージが認められた場合
- ・減点が累積された場合

※減点は分類を超えて累積される。

■失格■

- ・試合中、審判員の指示に従わなかった場合
- ・出場時刻(試合開始時間)に遅れた場合
- ・各階級の規定体重をオーバーした場合
(2キロ未満は減点1、2キロ以上は失格)
- ・試合中、選手が許可なく試合場から下りた場合や、セコンドが許可なく試合場上がった場合
- ・その他審判団が悪質と判断した場合

■出場停止処分■

競技者が、悪質な禁止行為を行った場合、あるいは競技者又はセコンドが空手道の信用を失墜させる行為を行った場合には、その競技者を失格とし、審判団権限により一年間の正道会館公式試合への出場停止処分を与える。

【注意】

- ◎大会会場及び試合中に生じた負傷・事故については競技者の自己責任となる。この件について主催者は一切の責任を負わない。自己判断にて事前に医師の診断を受けること。当日は大会ドクターあり。